

全国候補者会議を受けて、各候補「脇目もふらず」に大奮闘



2月9日、党本部で参議院比例代表と選挙区の予定候補者会議が開催され、中国地方から春名なおあき比例予定候補をはじめ、4人の選挙区予定候補が参加しました（写真は春名候補と中四国の候補の勢揃い）。

会議の様子は、10日付の赤旗で紹介されていますが、参加した各予定候補は、「850万・15%・8議席以上の目標は、政党間の力関係を大きく変え、公明や民主、維新を抜いて第二党に躍進することにもなる」、「脇目もふらず党の躍進に全力を挙げるこ

とを合言葉に頑張ろう」決意を語り、さっそく街頭に打って出ています。

中国ブロック、比例50万の得票目標達成を掲げて、指導部会議開催

2月17日、リニューアルした岡山県委員会事務所で、「中国ブロック指導部会議」が開催されました。

指導部会議では各県から有権者の中で日本共産党への期待が大きく広がっていることや1人区で広がっている「野党は協力を」の動きなどが報告されました。

さらに「2000万署名の支部目標を達成した支部が出てきた」「街頭署名の際に新聞購読や入党の約束をしてくれた青年がいる」「党勢の前進なくして選挙勝利なしが私の信条だ」などの経験が交流されました。

そして、闘争本部の訴えや候補者会議の報告を踏まえ、「脇目もふらず参院選で党の躍進へ各県の得票目標（中国ブロックの合計50万）達成に全力を挙げる」ことが確認されました。

会議ではまた、大平議員の国会活動の報告がありました。

比例の大躍進、定数2の広島選挙区の議席を、廿日市の早春のつどい

春名なおあき参院比例予定候補は、11日午前には岡山市南区の「新春のつどい」に参加。そして午後には広島県廿日市市で開催された「呼ぼうよ。春（名）を～早春のつどい」に参加しました。（写真）

「つどい」では、広島選挙区の高見あつみ予定候補が、「定数2の広島選挙区では、議席獲得をめざし、党の躍進で自公勢力を少数に追い込む」と決意を表明しました。

春名なおあき比例予定候補は、「国会論戦を通じて日本共産党の議席の値打ちがさらに高まっている」と参院選で党の躍進を訴えました。

